

楽しい「夏の思い出」

— 第16回人形劇カーニバル開催 —



飯田の夏のイベント、人形劇カーニバルが今年もやって来ました。年々参加する劇人も増え、いろいろな新しい手法を使った劇が見られるのもこのカーニバルの楽しみでもあります。

これは竜丘だけの数字ですが、ワッペンの販売枚数が七百三十七枚、六会場の延べ観劇者数で一千四百六十八人を数えました。ちなみにワッペンの販売枚数は昨年と比べて一割ほど減少したそうです。

ここ竜丘地区にも今年も多くの劇人が訪れ、公演と交流会が持たれ、様々なふれあいがありました。

外国の珍しい人形劇が見られるのもこの機会ですが、今年もここ竜丘の地にメキシコと、韓国の人形劇がやって来ました。

メキシコの人形劇団モヒガンガの公演は、八月六日竜丘小学校で行われました。



楽しい劇にみんな夢中

大変珍しい人形劇なので観劇者も三百六十一名をかぞえ、竜丘ばかりでなく他地区から、また劇人たちの顔も多く見かけるなど大盛況でした。

お話は、年老いた人形遣いと、白人、黒人の家族のふれあいから、人形遣いがドラゴンになって月の精に会いに行くという内容で、等身大の人形や小さな操り人形やピエロが賑やかな音楽と共に繰り広げた物語は、人形の美しさと共に観客を魅了しました。

セリフは分からなかったものの、人形達の表情豊かな熱演は所々挟まれる日本語の解説の助けもあって十分内容の理解ができました。公演終了後の交流会では英語の通訳を交えながら、心のこもった手作りの料理



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口	6,601人
男子	3,232人
女子	3,369人
世帯数	1,914戸
(6年8月末現在)	

大地の潤いに感謝

竜西一貫水路

竜丘再発見

今年の夏は暑かった。気温も高かったが、とにかく雨が降らず、日本各地では水不足が、深刻な問題となりました。

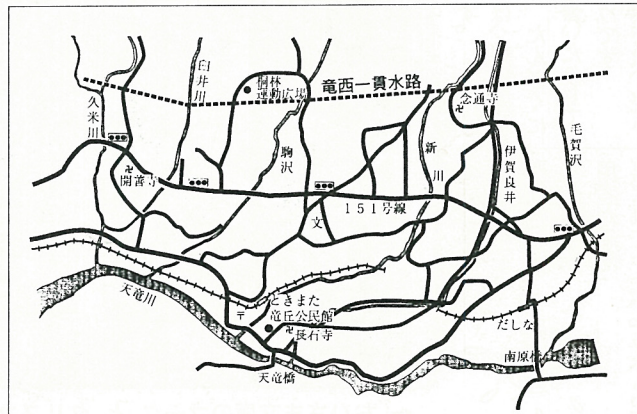
去年は、長雨により凶作だった稲作が、今年も、田んぼが干上がり、スモアあり、何十年ぶりに雨ごいをしたという話も聞かれました。

この地域ではどうでしょう。確かに川の水量は例年より少ないかもしれませんが、田、畑は青々

今年も夏は暑かったです。竜丘にも流れ込んでくる「竜西一貫水路」の存在が、とてもうれしく感じました。

この一貫水路は、約百年前に構想が持ち上がり、昭和十三年に県に設計申請をして、翌十四年から着工しました。上伊那郡中川村の取入口より、松川町、高森町、飯田市に入り、川路へ至る途には、総延長二十四キロのぼります。

全線完成したのは、実に三十年もの歳月を費やした昭和四十四年でした。それまで、水争いが続いた段丘にも水が引かれ争う事もなくなり現在に至っています。



この水路は地下を通るトンネルが多いために、あまり人目にふれる事はありませんが、竜丘では、四ヶ所から、水を取り出している所があります。その一つとして、鈴岡公園の下で大井にそそぎ、伊賀良井からくる水も、一貫水路により水位が増し、勢いが変わり流れ出している様子がよくわかります。

普段あまり気にかけないでいた竜丘分団の操法技術の高さを伺わせる大会となった事は、私も地区住民の一人として大変心強い限りです。

当日は、此の夏の天候から予想される通り、暑い中での大会となりましたが、運良く出場順位が四番目となり、若干涼しい時間に競技できたのは、選手皆さんの日頃の行ないの良さからでしょうか。

第七分団桐林班

「惜しくも入賞のがす」

飯伊消防技術大会

去る七月十七日城下グラウンドに於いて、飯伊消防技術大会が開催されました。

これは、ポンプ操法とラッパ吹奏の技術を競う大会で、当竜丘分団から分団大会、飯田市大会を勝ち抜いた桐林班が、飯田市の代表として小型ポンプの部に参加し

桐林班は、前々週に行なわれた飯田市消防技術大会で、日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮し、参加二十八班中四位と好成績を収めた表となりました。また同じく小型ポンプの部に出場した長野原班も十位となり、

成績ですが、竜丘分団八年振りの出場とあって不慣れた所に、飯田市の代表というプレッシャーもあってか、選手達も緊張気味で「普段の力が出せなかった」とくやしそうです。それが、それでも参加二十一チーム中四位



がんばりました。

この夏、会合などでは、「昨年の長雨冷夏とは打って変わった今年の陽気です」という言葉を良く聞いたものである。

今年の冷夏・長雨により国産米が不足し大きな社会問題となり、食糧自給やタイ米に代表される輸入米の問題まで連日報道され、考えさせられる問題を残した。又、ここへきて今度は、どこから出てくるのか国産銘柄米が大量に店頭へ並ぶという報道がされている。やはりどこかにかあったかという半ばあきらめと、株や土地の代わりに主食の米まで投機の対象としてしまうことに憤りを感じ報道を聞いたのは私だけではあるまい。

不足といえ、この夏は、米以上に水不足が人々の関心を引いたのでは無かろうか。連日水不足が大きく報道されたが、幸い当地区は少雨による農作物への影響はあったが、生活に直接関わる飲料水など水道の断水や給水制限など一度もなかった。水不足などは遠い地域での出来事のようにニュースを見ていたのではなからうか。

これは、水道や灌漑用水の必要性を理解し整備を進めた先人と、この山懐に育まれた豊かな自然に感謝しなければならぬ。

バブル経済と言われた時代には、物や金あまりが問題となったが、今や自然に關係するものが不足する時代となってきた。

世に末とされるこの時代、昔に比べ物質的にはずいぶん豊かになったが、反面、義理人情に代表される人の心が不足する事の無いようお互いに考えていきたいものである。

となり、惜しくも入賞はのこしたものの、立派な成績を収めたと思います。

桐林班を始め、長期間にわたる訓練を積み、有事に備える消防団の方々大変御苦労様です。先だって防災訓練がありました。火災のみならず台風、長雨など自然災害の時期となりました。健康に留意し益々の活躍を期待します。

気軽に 楽しく 汗を流そう

◇ 誰でも気軽に楽しめる軽スポーツを地区内に広く紹介することを目的とした、軽スポーツフェスティバルが九月四日に七十七名の参加で行なわれ、参加者の汗まみれで走り回る姿と笑い声があちらこちらで聞こえました。

◇ 当日行なわれたのは

- ・ スーパーマレットボール
- ・ スーパーキックベース
- ・ ダーツ
- ・ ペタンク
- ・ ソフトタスポニー

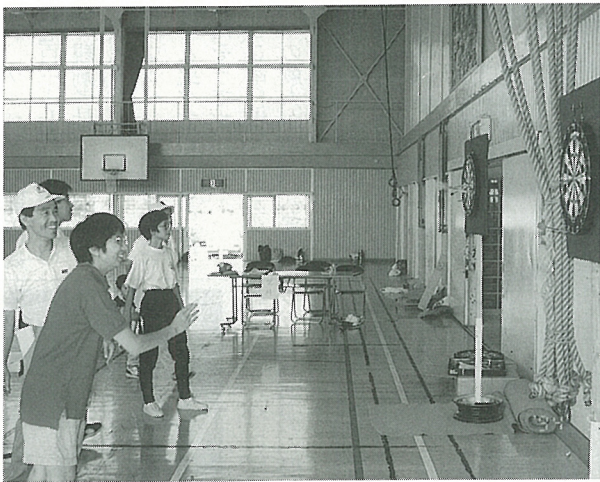
以上五種目の手軽なスポーツでした。

スーパーマレットゴルフは、ゲートボールのスティック・ボールを使用してゴルフの要領で行なうスポーツです。ルールについては今回は、先進地の千代地区のルールに基づいて行なわれ、コースにタイヤなどで障害物を作って少し難しくなっていました。

次にスーパーキックベースですが、これは最近テレビ番組の中で行なわれていたもので、ピッチャーが投げる替わりにハンドボールくらいの大きさのゴムボールを転がし、バッターはバットで打つ代わりに足で蹴り、ベースは二塁はなく一塁と三塁のみで行なう野球で、昔けりベース・三角ベースなどと呼ばれ、子供の頃よく遊んだものと同様同じです。

やってみると一塁から三塁へ行く距離が長く、少しハードなスポーツの様な感じがしました。

次にダーツですが、これは鉄で出来た矢を二メートル位前にある的に当てるスポーツで、的には色分けがしてあり、その色によって点数が違い、そこで点差が



ナイス スローイン

で、読者の方も一回やってみてはいかがでしょう。ソフトタスポニーはスポンジ製のボールを手で打ち合うテニスに似た競技で屋内で行なわれます。やってみるとなかなかボールのコントロールがしにくい感じがしました。

どの競技も手軽で怪我が心配も少ないため、日頃運動不足でストレスの多い私達にとって心身共にリフレッシュ出来るスポーツと言えます。又キックベースのようにチームでまとまれ連帯感も感じられるもの

清内路地籍の立木を売却 竜丘地区財産区

下伊那郡清内路村にある竜丘地区の財産区立木の公売が、去る六月二十二日飯田市座光寺、飯田宮林署で、一般競争入札によって行なわれた。今回伐採されたのは、竜丘官行造林四い林班、九・五ヘクタールの中の五・五ヘクタール、スギ、二百二十一本、ヒノキ、三千二百五十二本を始めて合計六千六百九十本にのぼった。

今回伐採されたこの山林の土地は地区の財産であるが、立木は飯田宮林署との官行造林の契約になっており、今回の立木伐採が実施

公売による収入は、飯田宮林署との折半となった。官行造林契約とは、財産区の面積が広い事、手間がないなど地区による管理が出来ない為、飯田宮林署に伐採までの間の管理を委託契約しているもので、今回の公売による収入一千四百三十六万八千円の半額、七百十八万四千円が、竜丘地区の収入となった。

竜丘財産区は、地区内より選ばれた十人の議員を中心に管理運営され、伐採による収入が、運営費となっており。前回の伐採による基金が残らずなくなった為、今回の立木伐採が実施

される事となった。今後伐採後は、来年度の財産区管理へ転換していくように、関係各機関との話し合いが進められている。

その後の管理を現在、今までの官行造林から、飯田



植林が進む竜丘財産区

治水対策事業 地権者組合設立

これまで天竜川治水対策事業に伴う竜丘工区（久米川より北側）地権者組合が、六月二十五日に設立された。組合員数は百二十名（うち企業十一社）で役員四役が決められた。

天竜川治水対策事業には、この度天竜川治水対策推進委員会竜丘部会（部長は自治会長）が中心となつて進めてきたが、区画整理事業を導入することが決まり、この度の地権者組合の発足となった。

区画整理事業の導入により、竜丘工区は宅地・公共施設（道路・公園など）といた付加価値の高い土地

となる計画である。地権者組合では、八月二十九日に、第一回理事大会が開かれ、「総務」換地・農地「補償」の各委員会の委員が選出され具体的な動きが始まった。工事着手には国の許認可が必要とな

大きく様変わりするこの景色を、長く記憶に留めていくことは、竜丘に住む私達の努めだと思ふ。



竜丘の養蚕を支えた島地区桑園

役員	彦寛 夫秋
組合長	邦 幹豊
副組合長	水村 清今
事務	水村 清今
会計	水村 清今
庶務	水村 清今
総務	水村 清今
その他	水村 清今

土曜の午後は

おひさま文庫

毎週土曜日の午後一時から四時まで、竜丘公民館の図書室は開館しています。この図書室には、別名「おひさま文庫」という名前がついており、小学生の子供がいる九人の方々により、運営を行っています。

一回の利用者は、大人十人前後、子供が三十人から四十人近くだそうです。又、多い時には子供だけで六十人という時もあったそうです。最近では、婦人会の方々の利用が増えてきているそうです。

利用者数がふえてきたという理由の一つに、組合回覧でまわる、おたよりがあ



← おひさま文庫のマーク と クリスマス会の一コマ

実施しています。七夕祭りでは、読みきかせの本を読み、たんざくに飾っておくそうです。

クリスマス会では、読みきかせの本を読んで、パンでお菓子の家をつくったりして、とても楽しい行事になるそうです。

おひさま文庫では、一九八六年から、おたよりを発行する様になり、利用者からも喜ばれています。又、名前がピッタリのマークもあり、どなたでも気軽に利用して欲しいそうです。

土曜日の午後は図書室へ一読書の秋はすぐそこ。

お知らせ

竜丘地区市民運動会の開催日が変更になりました。お間違いないように。

十月九日から十日（体育の日・雨天中止）に変更になりました。お間違いないように。

文化祭近づく

竜丘地区文化祭を十一月十二日・十三日（日）に竜丘小学校で開催します。今から準備をお願いします。

飯田市農業祭に「変貌する竜丘地区」を紹介いたします。

期日 十一月十二・十三日
場所 地場産業センター
本年は、来年度の本出展を控え、事前出展するもので、伝統行事である初午まつりと、変貌する竜丘地区と土地利用をパネルで紹介いたします。地区の皆さん、是非ご覧下さい。